

(別紙1)

管理運営状況 評価シート【令和4年度】

(評価日 令和5年6月30日)

1 施設の概要

施設名	岩手県営スケート場
所在地	盛岡市みたけ五丁目9-1
電話・FAX	019-641-1530・019-643-5962
HP・電子メール	keneisketejo@echna.ne.jp
設置根拠	県立スケート場条例
設置目的	(設置:昭和47年11月) 体育の普及振興を図り、県民の心身の健全な発達に寄与するため
施設概要	敷地面積、建物面積、主な施設、利用定員等 敷地面積:34,737㎡ 管理・観客席棟:鉄筋コンクリート造2階建て 収容人員:観覧席1,660人 スピードリンク:400m×15m、1面 インラインスケートリンク:200m×6m、1面 アイスホッケーリンク:60m×29m、1面 フィギュアリンク:60m×29m、1面 冷凍機:ターボ冷凍機、4基 附帯施設:食堂、休憩室、休憩場等 駐車場:普通車290台
施設所管課	岩手県文化スポーツ部スポーツ振興課 (電話019-629-6797 メールアドレス AK0003@pref.iwate.jp)

2 指定管理者

指定管理者名	公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日(5年間)
連絡先	公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団 総務企画課 019-641-1218

3 指定管理者が行う業務等

業務内容(主なもの)	施設の使用の許可、使用料の徴収、維持管理、利用促進及び広聴広報他に関すること		
職員配置、管理体制	4名 (令和4年4月1日現在) (内訳) 正職員2名、地域職員(パートタイム職員)2名、他社等からの派遣なし	【組織図】事業団本部	主任主事(1) 事務員(1)
利用料金	別紙のとおり		
開館時間	日曜日・休日 10:00～18:00 土曜日・12/26～1/16 10:00～20:00 上記以外 13:00～20:00	休館日	(開場日:11月1日～3月第1日曜日) 毎週月曜日、12月31日～1月1日

4 施設の利用状況

(単位：人)

(利用者数、稼働率等)	前期間平均	指定管理期間						備考
		30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	期間平均	
第1四半期	252	130	282	246	0	0	132	
第2四半期	906	165	515	246	0	182	222	
第3四半期	13,367	15,690	12,119	12,439	12,423	10,627	12,660	
第4四半期	18,159	14,241	11,531	10,253	9,319	10,852	11,239	
年間計(実績)	32,684	30,226	24,447	23,184	21,742	21,661	24,252	
年間計(計画)	35,506	28,900	29,000	29,100	29,200	29,300	29,100	

5 収支の状況

(単位：千円)

区 分		前期間平均	指定管理期間						備考
			30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	期間平均	
収入	利用料金収入	6,475	6,599	5,950	5,052	5,447	5,348	5,679	
	県委託料	80,750	75,542	77,222	76,379	80,185	106,368	83,120	
	小計	87,225	82,141	83,172	81,431	85,632	111,716	88,819	
支出	人件費	10,017	8,754	7,731	6,276	4,852	7,999	7,122	
	旅費	0	0	0	0	0	0	0	
	報償費	125	218	138	169	185	178	178	
	需用費	54,079	51,574	52,119	50,391	53,537	83,270	58,178	
	役務費	574	838	722	490	737	516	661	
	委託費	19,424	20,205	20,632	21,401	21,677	20,959	20,975	
	使用料及び賃借料	738	145	171	192	120	90	144	
	消耗什器備品費	71	70	0	0	0	0	14	
	福利厚生費	19	19	10	0	5	10	9	
	負担金	2	20	0	0	0	0	4	
	その他	1,280	1,795	1,769	1,954	2,032	1,798	1,869	
小計	86,329	83,638	83,292	80,873	83,145	114,820	89,154		
収支差額		896	△1,497	△120	558	2,487	△3,104	△335	

6 利用者の意見等への対応状況

(1) 利用者意見(満足度等)の把握方法

把握方法	アンケート調査及び聞き取りによる。	実施主体	公益財団法人 岩手県スポーツ振興事業団
------	-------------------	------	------------------------

(2) 利用者からの苦情・要望

受付件数	苦情1件、要望0件、その他0件		
主な苦情、要望等	対応状況		
・リンクコンディション(整水状態)が悪い	・委託業者の社員が一斉退社したことで整水技術が低下したことが原因。整水実績のある他社及び退職した元社員から技術指導を受けながら対応した。		
その他利用者からの積極的な評価等			
<ul style="list-style-type: none"> ・キッズ on サタデー&ホリデー(小・中学生無料)は嬉しい。今後も続けて欲しい。 ・小学校の体育授業でスケートがあるので、事前に練習ができる「スケート教室」はありがたい。 			

7 業務点検・評価 (※)

(1) 業務の履行状況

項目	事業計画、県が求める水準	実績 (指定管理者の自己評価)	評価指標
運営業務	設置目的を効率的かつ効果的に達成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯スポーツ・レクリエーションの普及・推進とスケート競技力向上の拠点施設として、充実した体験、訓練の場となるよう施設・設備の整備、利用環境の向上に取り組んだ。 ・競技関係者の要望に沿って、早朝開場や臨時開場を実施した。 ・平日の午前（一般利用時間外）は、学校の体育授業を積極的に受け入れた。 ・広く一般に施設を利用していただくため、スケート連盟の協力も得て、技術指導・安全指導に取り組んだ。 ・自主事業を積極的に展開し、スケートをはじめの契機としたほか、施設の存在や魅力を知って頂く機会とした。 ・各種要望等を踏まえ、公平・平等で透明性のある施設運営に努めた。 <p>特に、利用については、競技団体から大会等の実施希望を聴取するとともに、併せて学校体育授業の希望などについても幅広く収集した。その結果を踏まえ、利用調整会議を開催し、各関係者の理解を得て最終調整を図った。</p>	A
施設の利用状況	<p>令和4年度管理運営計画書に定める利用者数及び利用料収入の目標値を達成すること。</p> <p>利用者数 29,300人 利用料収入 6,959,000円</p>	<p>利用者数 21,661人 (目標値比較：26.1%減)</p> <p>利用料収入 5,348,060円 (目標値比較：23.1%減)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少子化に伴い、利用の中心となっている高校部活動及びスポーツ少年団の構成員が減少している。 ・インフレによる物価上昇で、レジャー費用を削減するなど、生活防衛（利用控え）の姿勢が強まった。 ・全国規模の競技大会誘致が見送られたこと。 	B
施設の維持管理状況	<p>施設設備の維持管理等の業務を適切に行う。</p> <p>公有財産及び備品を適切に管理する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・施設設備を良好に維持するため、日常点検を励行し、予防保全・事後保全に努めたほか、必要に応じて修繕等を行った。備品・用具等の点検強化月間を設け、日常点検でできない、より精度の高い検査、修繕等を実施した。 ・体育施設管理士（事業団資格保有者）による巡回指導を実施し、より専門的な視点による施設管理に取り組んだ。 	B

		<ul style="list-style-type: none"> ・財産の現状維持に努めるとともに、その状態を台帳等に記録・保存した。破損や故障が生じた際は、速やかに県に報告するとともに、現状復旧に努めた。即時復旧できないものについては、使用禁止等の処置を講じた。 ・再委託業務については、業務指導・監督を適時適切に行った。 	
記録等の整理・保管	管理に係る各種帳票書類を適正に整理・保管する。	<ul style="list-style-type: none"> ・各種帳票書類は、保存区分に沿って整理保管している。 ・個人情報については、事業団取扱要領に従い、外部漏洩しないよう厳重に保管している。 ・定められた保存期間を過ぎた文書・帳票類については、廃棄物処理法に沿って廃棄（焼却）処分している。 	B
自主事業、提案内容の実施状況	施設の設定目的に沿った、利用促進に繋がる方策に基づき事業を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・「スケート教室（初級編）」を含む全5事業を計画、実施した。 ・自主事業の参加を契機に、スケートをはじめる方も多数おり、生涯スポーツとしてのスケート愛好者拡大に寄与している。 ・重ねて利用してくださる方が増えており、施設の利用促進に繋がっている。 	B
(施設所管課評価) <ul style="list-style-type: none"> ・成果のあった点：スケート教室の開催等により、初級者の利用促進を行った。 ・改善を要する点：特になし。 			B

(2) 運営体制等

項目	事業計画、県が求める水準	実績（指定管理者の自己評価）	評価指標
職員の配置体制	各業務に適した職員を適正に配置する。	<ul style="list-style-type: none"> ・管理計画書のとおり、有資格者等を適切に配置した。 ・必要な資格の取得を進めたほか、接遇研修やコンプライアンス研修を随時行い、職員の資質向上に取り組んだ。 ・「早朝練習」「臨時開場」などの要望に可能な限り職員を配置して対応した。 	B
苦情、要望対応体制	利用に関する各種問い合わせや要望及びトラブル等の対応を適切に行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・クレーム等があった場合は、事業団クレーム対応要綱に沿って適切に対応している。 ・懇切丁寧な利用案内に努めた結果、利用者アンケートの結果において、高い評価を得ることができた。 ・利用者アンケートの要望等については、対応内容を含めホームページで公表している。 ・問い合わせや要望等には、丁寧に速やかに対応することになっている。 	B

危機管理体制（事故、緊急時の対応）	災害時・緊急時の対応や、防犯・防災対策として、マニュアルの作成や訓練を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・事業団危機管理対応要綱及び危機管理要領に沿って「非常時対応マニュアル」を整備し、有事の対応に万全を期している。 ・消防訓練を実施し、避難誘導、初期消火の仕方などを学んだ。 ・震度4以上の地震が度々発生しているが、その都度、速やかに施設点検を実施した。異常等については、各関係機関と連絡・調整を図り、適切に処置した。 ・高圧ガス事故災害に関する講習及び対策訓練を、それぞれ2回実施した。 	A
コンプライアンスの取組み、個人情報の取扱い	基本協定に基づく秘密の保持、個人情報の保護及び法令順守の確保。 個人情報に関する書類について、適切に管理する。	<ul style="list-style-type: none"> ・事業団の個人情報保護に関する規定及びコンプライアンスマニュアルに基づき適切に対応した。 ・個人情報の取得は、利用者の同意を得たうえでやっている。また、取得目的以外には使用しないよう職員に周知・徹底した。 ・事業団が主催するコンプライアンス研修会等に職員を出席させ、その伝達研修を通して所職員の資質向上に努めた。 ・毎月実施している所内会議の中で、予め設定したコンプライアンスのテーマに沿って、各自の考え方を発言する場を設けている。 ・全職員が誓約書を提出し、取扱情報の管理徹底に取り組んだ。 ・個人情報の取得は必要最小限にとどめ、取得した情報については鍵のかかる場所で厳重に保管するとともに、不要となった個人情報資料は速やかにシュレッダー処理をした。 	B
県、関係機関等との連携体制	基本協定に基づき、近隣住民や関係機関との協力連携に努め、良好な関係を維持する。	<ul style="list-style-type: none"> ・県及び関係機関との連携に努め、良好な関係を維持している。 ・周辺小学校及び小学校校外指導連絡協議会と連携し、非行防止対策に取り組むなど、青少年の健全育成活動に参画している。 	B
(施設所管課評価) ・成果のあった点：消防訓練を実施するなど、危機管理体制の強化に努めた。 ・改善を要する点：特になし。			B

(3) サービスの質

項目	事業計画、県が求める水準	実績（指定管理者の自己評価）	評価指標
利用者サービス	利用者のニーズを把握し、利用者サービス向上に向けた計画を策定し、適切に実施する。 利用者への接客サービス向上のため	<ul style="list-style-type: none"> ・各種アンケート調査実施のほか、利用者への声掛けを通して、利用者ニーズの把握・収集に努めた。 ・安全見守り業務をお願いしている 	A

	めの研修等の取り組みを行う。	スケート連盟の普及員や貸靴業務を委託している業者からも意見・提言を収集した。 ・それら要望等を速やかに管理運営に反映させるとともに、対応困難な事案については、その理由を丁寧に説明した。 ・事業団が実施する接遇等研修会に職員を出席させ、サービス向上に努めた。	
利用者アンケート等	利用者アンケート及び意見箱の設置その他の方法により、利用者のニーズを把握し、施設管理及び事業運営の改善を行う。	・自主事業参加者へのアンケート調査のほか、事業団施設共通一斉アンケート調査を実施して、利用満足度やニーズ等を収集した。 ・その結果を、自主事業や施設運営に反映した。 ・アンケート調査の結果とその対応状況等について、ホームページで公表した。	B
(施設所管課評価) ・成果のあった点：利用者のニーズに対応するなど、サービス向上に努めている。 ・改善を要する点：特になし。			B

(4) サービス提供の安定性、継続性

項目	事業計画、県が求める水準	実績（指定管理者の自己評価）	評価指標
事業収支	管理運営計画における収支の積算に対する収支実績が適正である。	・当初計画に沿った予算執行に努めた。 ・コロナウィルス感染拡大や物価高騰の影響で計画のとおりとはならなかった面もあるが、概ね管理運営計画との整合は図られていると考える。	B
指定管理者の経営状況	経営基盤が安定しており、計画に沿った管理を行う能力を有している。	・公益法人としての活動について、毎年、公益認定委員会の評価を受けており、財務・経営に関しての指摘・指導は受けていない。 ・業務を適切に成し得るだけの有資格者・経験者を有しているほか、職員の資質向上にも努めており、十分な管理能力を保持していると考え。	A
(施設所管課評価) ・成果のあった点：法人の健全な経営を維持し、支障なく施設運営が行われた。 ・改善を要する点：特になし。			B

※（注1）県記載欄：「事業計画・県が求める水準」、「評価指標」「施設所管課評価」

指定管理者記載欄：「実績（自己評価）」

（注2）評価指標

- A：協定書、提案書等の内容について高レベルで実施され、また、計画を上回る実績（効果）があり、優れた管理がなされている。
- B：概ね協定書、提案書等の内容どおり実施され、計画どおりの実績（効果）があり、適切な管理が行われている。
- C：一部、改善・工夫を要する事項が見られたが、改善済み、または改善される見込みである。
- D：協定書等の内容に対し、不適切な事項が認められ、改善を要する。

8 指定開始年度から評価年度までの総合評価

(1) 指定管理者の自己評価

<p>① 成果があった取組み、積極的に取り組んだ事項</p> <ul style="list-style-type: none">・競技利用者の要望に応え、土曜・日曜・祝日の早朝営業を実施した。・PR活動の強化として、ホームページの見直しや情報誌の活用、マスコミへの投げ込みなどに取り組んだ。・学校体育授業や子供会など、広く施設を利用して頂くための広報にも取り組んだ。・同種の活動を行っている団体等に、当スケート場を活用くださるよう働きかけを行った結果、北上市のNPO法人主催による「スケート教室」(元オリンピック選手講師)を開催することができた。・google マップに施設の状況写真を随時アップするなど、利用者が求める情報の発信に注力した。
<p>② 現在、苦慮している事項、今後、改善・工夫したい事項、積極的に取り組みたい事項</p> <ul style="list-style-type: none">・近年の暖冬(温暖化)に伴い、11月初旬と2月中旬以降は、氷が融けゆるくなるなどしており、滑走が困難(危険)な日が増加している。営業期間の見直しが必要と考えている。・冷凍設備の老朽化が進行している。氷温を自動で管理するデストリビュータが故障しているが、予算の都合で満足な修理ができていない。交換を要する冷凍機は複数台あり、修理には多額の費用を要する。状況によっては、手動で氷温調整を行わなければならないが、技師が付ききりになるなど人的にも負担が増している。冷却塔(クーリングタワー)の老朽化も進んでおり、次々と故障が発生している。このままでは、スケート場が営業できなくなることも有りうる。・スピードリンクの安全マットが劣化しており、大会での使用が困難な状況にある。競技規格が改正されたこともあり、今後全面更新する必要がある。・管理棟(事務室・貸靴室)及び選手休憩棟の屋根から雨漏りしている。建物の傷みはもとより、漏電事故を懸念している。・貸出用のスケート靴が劣化して使用に堪えないものが増えている。靴のサイズによっては、用意品(在庫)が少なくなっており、利用希望に答えられていない。定期的に更新・補充はしているが、劣化のスピードに追い付いていない。また、研磨を繰り返しているため、ブレード(刃)が摩耗し、これ以上の研磨ができない物も多い。安価なプラスチック製の靴は、すぐに破損してしまうので革製品の補充が望まれるが、既に国内で生産されておらず、完全受注生産となっている。一定ロットでの取引が原則となっており、小口購入ができず苦慮している。・スピードリンクのタイム計測地点の照度が不足しており、計測に支障が出ている。 (移動式のスポットライトをリースして対応している。)・全国規模の競技大会を誘致するのであれば、冷凍設備はもとより、整氷自動車(ザンボニー)、放送設備、防護マットなど施設設備全体の更新が急務である。
<p>③ 県に対する要望、意見等</p> <ul style="list-style-type: none">・劣化が著しい冷凍設備及び整氷自動車(ザンボニー)、放送設備、給湯ボイラー設備の早期改修・更新・管理棟及び選手休憩棟の雨漏り修繕・安全(防護)マット及び貸出用スケート靴の更新・補充・照明設備の改修(照度向上)・ワイヤレスマイク関連機器の更新(無線設備起草の改正)・火災報知器の早期更新(所轄消防署より指摘あり)

(2) 県による評価等

<p>① 指定管理者の運営状況について コロナ禍、物価高であったが、様々な事業で利用者増加に努めており、適正な管理運営が行われた。</p>
<p>② 県の対応状況について(自己評価) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大による減収補填及び物価高騰等に対応するため、指定管理料の増額に必要な予算措置を行うなど、指定管理者と連携しながら、管理運営に関する問題解決に努めた。</p>
<p>③ 次期指定管理者選定時における検討課題等 施設設備の老朽化が進んでいることから、施設の長寿命化を図るよう計画的に維持修繕に取り組む必要がある。</p>

9 改善状況等

改善を要すると評価された項目（C、D評価の項目について）
改善状況
（指定管理者から県への報告年月日： 年 月 日）
改善状況の確認
（再評価年月日 年 月 日）

別紙

表1 個人使用の場合の利用料金

区分		小学校児童及び中学校生徒	高等学校生徒及び学生	一般
普通利用料金（1回につき）		円 140	円 350	円 570
回数利用料金（6回につき）		700	1,750	2,850
定期利用料金 （1シーズンにつき）	競技関係者	2,800	7,000	11,400
	その他の者	5,600	14,000	22,800
附属の設備の利用料金	靴（1回につき）	120	280	470
	ロッカー（1回につき）	100		円

- 備考1 「競技関係者」とは、岩手県スケート連盟及び岩手県アイスホッケー連盟に登録している者をいう。
 2 幼児に係る利用料金（附属の設備の利用料金を除く。）は、無料とする。
 3 幼児に係る靴の利用料金は、小学校児童及び中学校生徒に係る靴の利用料金と同額とする。

表2 貸切使用の場合の利用料金

区分		料金を徴収しない場合	料金を徴収する場合
アイスホッケーリンクの利用料金 （1面につき1時間までごとに）	土曜日及び休日	円 10,730	円 21,470
	その他の日	8,050	16,100
スピードスケートリンクの利用料金（1時間までごとに）	土曜日及び休日	25,880	51,770
	その他の日	20,700	41,420
附属の設備の利用料金	放送設備（1時間までごとに）	590	1,180
	得点表示盤（1式につき1時間までごとに）	1,170	2,330
	照明設備	実費を基準として知事が定める額に相当する額	

- 備考1 靴、ロッカー又はシャワーの使用をする場合は、これらの使用に係る利用料金は、個人使用の場合の利用料金と同額とする。
 2 「料金を徴収する場合」とは、貸切使用をする者が、入場料、会費若しくはこれらに類する金銭を徴収する場合又は営業の宣伝その他これに類する目的をもって催しを行う場合をいい、「料金を徴収しない場合」とは、それ以外の場合をいう。
 3 「休日」とは、日曜日、国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日、12月29日から31日までの日並びに1月2日及び3日をいう。